

標準施工仕様書



製品名	断熱コートEX プレマエディション
種 別	1 液水性反応硬化型シリコン変性アクリルエマルジョン断熱塗材
荷 姿	10 kg/缶
用 途	内外部一般壁面、屋根
適用基材	コンクリート、モルタル、窯業系サイディングボード、吹付タイル、スタッコ、リシン、ALC、金属系屋根、窯業系屋根、スレート、アスファルトシングル等

工程	材料	調合	所要量/㎡/回 (塗布面積/缶/回)	施工器具	塗回数	間隔時間 (23℃)	可使時間 (23℃)
素地調整	① 下地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は取り除いてください。 ② 劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去してください。 ③ 塗装面周辺は、汚れや損害を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。						
下塗り	下地に応じた下塗材をご使用ください。						
主材塗り	断熱コートEX プレマエディション	10kg	0.3~0.5 kg (20~33 ㎡)	刷毛 多孔質ローラー エアレス	1	12 時間以上 72 時間以内	—
	清水	3~7 %					
主材塗り	断熱コートEX プレマエディション	10kg	0.4~0.5 kg (20~25 ㎡)	刷毛 多孔質ローラー エアレス	1	12 時間以上 72 時間以内	—
	清水	3~7 %					

オプション

上塗り	弊社製品と組み合わせたオプション施工の場合は、各標準施工仕様をご確認の上で施工してください。
-----	--

注 意 事 項

- ・上記記載内容は標準的なものです。種々の条件により各々多少の誤差を生じる場合があります。
- ・アスファルトシングルに塗装する場合は下塗りに無機有機ハイブリッドEPO[水性タイプ]をご使用ください。
- ・乾式洋瓦はターボノズル等を併用しながら150kgf/cm²以上の圧力で入念に洗浄してください。着色スラリー層が除去できていることを確認したうえで無機有機ハイブリッドEPOを2回塗りしてください。
- ・コロニアル、カラーベスト等には必ずタスペーサーを使用し、板の重なり部分に塗料が付着し詰まっている箇所は皮すき・カッター等で除去してください。漏水の原因になります。
- ・施工環境が気温5℃以下の場合、湿度85%RH以上の場合、結露が発生する可能性がある場合は、外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けてください。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・常に結露が発生する地域、時期、場所での塗装は避けてください。
- ・シーリング材の上に施工する場合、シーリング材の種類等により、汚染、密着不良、割れが発生することがありますので、基本的には行わないでください。やむを得ず塗装する場合は、重ね塗り適合性を十分確認の上、施工してください。
- ・下地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗り替えでは必ず高压洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去してください。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させてください。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生してください。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取ってください。
- ・塗料使用の際は内容物が均一になるように十分に攪拌してください。
- ・エアレスでの施工は飛散により周囲を汚しトラブルの原因になる事があります。飛散防止対策は確実に行ってください。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装してください。
- ・塗料は、冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理してください。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物とし処分してください。(排水路、河川、下水、土壌を汚染する場所へ廃棄しないでください。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用してください。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ・ご使用の際は各商品の容器に記載されている注意事項をよく守ってください。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。